

トドマツの内外装材利用に対する印象

2019年12月、上川地域水平連携協議会（齋藤光久会長）は、「WOODコレクション（モクコレ）令和元年」に出展しました。展示したのは厚さ30mmのトドマツ厚板を外装材として用いた防耐火構造外壁およびその関連資料です。展示会では今後の普及展開の参考とするため、トドマツの内外装材利用に関するアンケート調査を行いました（写真1）。その結果の一部を紹介します。



写真1 アンケート調査の雰囲気

■回答数

アンケートに対する全回答数は126件で、この内、回答者の現在のお住まいが北海道以外であるものは110件でした。上川地域水平連携協議会ではトドマツの道外での利用に積極的に取り組んでいることから、ここでは道外回答者の集計結果を報告します。また、回答者に選択していただいた属性（表1）を用いて建築関係（②～⑥、52件）を抽出し、全体の回答傾向との差異も見てみました。

表1 アンケート回答者に選択していただいた属性

①森林・林業関係、②ゼネコン建築会社、③工務店・ハウスメーカー、④建築設計・デザイン事務所、⑤建材・木製品製造、⑥商社・卸業・流通業、⑦官公庁・公共施設・団体、⑧学生、⑨その他

■内外装材利用に対する印象

トドマツ材を現しで使用する部位として、外装材、内装材、床材を取り上げ、それぞれに対する印象を「魅力」「ニーズ」の視点で答えていただいた結果を表2に示します。

全体としてプラスのイメージが大勢を占めていますが、外装材、床材についてはややマイナスな印象が、特に建築関係者で見られました（表2 網掛け部分）。

この理由は、トドマツ材を外装材として利用する上で必要と感じる項目で、「狂いにくい」が建築関係では10ポイント以上全体より高い（表3 網掛け部分）ことが示しているように、施工後の障害抑制を強く意識する立場から来ているものと推察されます。

表2 トドマツの内外装材利用についての印象

部位	印象	全体	建築関係
外装材	①大いに感じる	41	36
	②やや感じる	52	52
	③あまり感じない	6	10
魅力 内装材	①大いに感じる	57	52
	②やや感じる	41	46
	③あまり感じない	2	2
床材	①大いに感じる	42	36
	②やや感じる	46	46
	③あまり感じない	12	18
外装材	①見込める	28	24
	②やや見込める	64	64
	③あまり見込めない	8	12
ニーズ 内装材	①見込める	49	48
	②やや見込める	47	48
	③あまり見込めない	4	3
床材	①見込める	43	38
	②やや見込める	44	47
	③あまり見込めない	13	16

注：印象として、④感じない（魅力）、④見込めない（ニーズ）の回答は、0～2程度であったことから記載を省略（%）

表3 外装材として利用する上で必要と感じる項目

印象	全体	建築関係
①防耐火性が高い	43	40
②耐久性が高い	51	48
③狂いにくい	45	58
④施工が簡便である	16	17
⑤供給が安定している	28	29
⑥バリエーションが豊富	3	2
⑦価格が手頃である	32	29

（複数選択、回答件数に対する%）

（文責：編集部）